

# 進路指導室だより --- For the Rolling Stones ---

2019年12月20日 八千代高校進路指導部

**祝 お茶の水大学 合格**  
**祝 大阪大学 外国語学部 合格(29年度卒 家政科 → 神田外語)**

ビッグニュースです！ 現役で「お茶の水大学」に合格、卒業生は「大阪大学」合格です。  
やるなあ、八千代高生。 みんな、負けてられないね！

## 最後のセンター試験と私大の傾向

大学入試センターは2020年1月18日(土)と19日(日)に実施される大学入試センター試験の確定志願者数を発表しました。総志願者数は557、698人で前年より19、132人の減少。来春の新規高校卒業見込者が14、000人弱減少すること、今春の私立大入試で既卒生分が合格者となって減少したこと、全体的な安全志向等が複合的に影響していると考えられています。

一方、同時に発表された2020年度のセンター試験利用大学は前年より3校多い706校で過去最多となっています。内訳は国立82校(増減なし)、公立91校(1校増)、私立533校(2校増)。国公立は全大学がセンター試験を利用します。21年度からセンター試験は装いも新たに「大学入学共通テスト」となりますが、先日英語外部テスト利用の延期が決まったのにつづき、記述問題も白紙になりました。私立大学は一度次年度入試の概要を発表していますが、今後変更の可能性があります。1、2年生は最新のニュース、新聞記事等に着目しましょう。

次に私立大学の様子を見てみましょう。今年はAO、推薦受験が増加しましたが、これからもその傾向は強まると予想されています。全体の傾向としては、昨年度よりも、より一層安全志向となっており、大東亜帝国、女子大の難化が顕著に見られます。例年八千高生が受験するGMARCHレベルは大いに狙い目ですが、相応の学力は必要であるのは変わりません。

成成明国武、日東駒専は上位者の動向により追加合格が多くでるでしょう。追加合格は電話を取れるか否かにかかっています。不審電話と思って電話に回答しないとアウトです。また、他大学の入学手続き後に追加合格となった場合に経済的な負担を考えられるか否かも事前に保護者と相談しておくこと。昨年度は、追加合格の電話から1時間以内で結論を出して、という大学もあったようです。

## 模試の結果から(1、2年生へ)

10月に実施した模試の結果に大きな変化がありました。2年生の国数英の総合偏差値が近年まれに見る高さになったことです。それぞれの偏差値をみると、国語53.9(昨年比+1)、数学50.2(同+1.9)、英語54.1(同+2.5)と過去5年間で最高の値になっています。さらに1年生の国数英の総合偏差値も過去最高に並んでいます。国語53.7(昨年比-0.7)、数学54(同+2.6)、英語53.7(同+0.1)と2年生に負けず劣らずの成績です。「ポスターツアー」や「社説サマリー」を通じて学んでいる「読解力」と「表現力」が高得点の原動力になっているのでしょうか。すべての学問の基礎となる「読解力」はますます必要になります。どんどん読んで、どんどん自分の言葉で書くことは必要です。また、文系学部でも入試に「数学」を必須とする大学も増えてきます。「情報化の波」の現れですね。経済学を語るのに「数学の知識」が必要とされています。また、文系学部卒と理系学部卒ではある年齢になると平均年収が100万違うと言われていています。当然、理系学部卒の方が高い。なぜなら、様々な業務に「数学で培う論理的な思考力」が必須になるからだとか。もっともな話です。

## 最近の入試の傾向(1、2年生へ)

文系では早稲田大学国際教養学部、明治大学国際日本学部、法政大学グローバル教養学部、同志社大学グローバル・コミュニケーション学部といった国際系・グローバル系の学部が人気を牽引しています。理系では、データサイエンス学部のある横浜市立大学(公立)、滋賀大学(国立)、武蔵野大学(私立)などが注目されています。情報系学部・学科は時代の要請に依って、今後も新設・改組がどんどん進んでいきます。具体的な大学名をあげると昨年比で志願者が伸びたところは、国際経営学部と国際情報学部という2つの学部が設置された「中央大学」と難関大学の理系としては唯一理科1科目で受けられる「東京理科大学」です。

定員の厳格化の影響を避ける安全志向のため、関東の場合はGMARCHあたりを狙える層が、日東駒専へシフトしています。たとえば東洋大学では、2年前の2017年の志願者は約98、000人でしたが、今年は約116、000人と18%以上も増やしています。合格者の数はこの3年間2万人程度と横ばいなので、確実に合格しづらくなっているといえます。直近の模試の結果では、さらに下位レベルの大学でも志願者が増えている傾向があり、大東亜帝国あたりの入試が最も難化すると言われていています。

次に併願のための戦略をお伝えします。同じ大学を受けるにしても、入試が複数の複雑な形態に分かれてきました。自分の得意科目を生かせる方式はどれかをよく見極めることが大切です。国公立と併願する場合には必ずセンター試験を受けるので、センター試験の成績だけで入れる方式に出願するのも一手です。ただし、上位になるほど求められる得点率が跳ね上がるので、定員数の多い一般入試も組み合わせでチャレンジするなど、受験方式を複数組み合わせると良いでしょう。そのためにも情報収集は大切です。先にあげた人気のある新しい学部については、どのような学問かという一般的な定義もなく、大学によっては文系か理系か、そして4年間で学べる内容も異なります。また、経済学部が理系人材を求めるなど、文理をまたぐ形で受験できる選択肢も増えています。少しでもチャンスを増やせるよう、納得がいくまで調べるようにしてください。